

平成 2 9 年度 決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

徳島県警察本部

# 目 次

|     |                      |   |
|-----|----------------------|---|
| I   | 平成29年度警察本部主要施策の成果の概要 | 1 |
| II  | 主要事業の内容及び成果          | 3 |
| III | 歳入歳出決算額              | 4 |
| 1   | 一般会計決算額              | 4 |
|     | (1) 歳入決算額            | 4 |
|     | (2) 歳出決算額            | 4 |

## I 平成29年度警察本部主要施策の成果の概要

### 第1 身近な犯罪の徹底抑止

平成29年中の刑法犯認知件数は、3,694件と、過去最多であった平成15年の約3割まで減少し、その検挙率は約5割であった。

ストーカーや配偶者暴力等の事案に対しては、早期介入により重大事案への発展を防止するなど、被害者等の安全確保に努めた。

振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺に対しては、高齢者を対象としたコールセンター事業や不審電話撃退装置の無償貸し出し、SNSを活用した情報発信、金融機関等と連携した水際対策を推進したほか、「だまされた振り作戦」等の取締りにより、県民の安全安心の確保に努めた。

### 第2 重要犯罪等の徹底検挙

平成29年中、殺人、強盗等の重要犯罪は、認知件数47件、検挙件数48件、検挙率約102%であり、空き巣などの重要窃盗犯は、認知件数331件、検挙件数222件、検挙率約67%であった。

知能犯事犯では、贈収賄事件等を検挙し、暴力団対策では、暴力団組員による拳銃使用の殺人未遂事件を検挙するなど、暴力団の壊滅・弱体化に向けた取締りや情報収集活動、事業者、自治体等による暴力団排除活動を積極的に支援した。

### 第3 交通死亡事故の徹底防止

平成29年中、人身交通事故の発生件数、負傷者数はともに昭和43年以降、最少であったが、高齢運転者が関与する交通事故が約4割を占めており、交通事故死者数は34人と前年から15人減少した。

県警察では、高齢者の事故防止対策を最重要課題と位置づけ、関係機関・団体等との連携を一層強化し、高齢者の心に届く情報発信や分かりやすい交通安全施設の整備、参加・体験型の運転者教育を実施したほか、運転に不安を有する高齢者が免許証を返納しやすい環境の整備に向けた取組を進めた。

また、飲酒運転等重大事故に直結する悪質かつ危険性の高い違反に重点を置いた指導取締りを強化した。

### 第4 大規模災害等への徹底対処

今後発生が懸念される南海トラフ地震等大規模災害に対しては、迅速かつ的確な初動対応がとれるよう、最新の被害想定を勘案し、活動拠点の整備・機能強化を計画的に進めるとともに、初動対応訓練や装備資機材の習熟訓練等を繰り返し行い、救出・救助などの対処能力の向上と自治体や防災関係機関等との連携強化を図った。

また、自然災害だけでなく、テロ等の事態を想定した訓練を重ねるとともに、消防、自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、緊急事態への対処能力の向上に努めた。

### 第5 組織基盤の徹底強化

県警察では、社会情勢の変化等に的確に対応するため、警察本部に「警察署再編整備等総合計画推進室」を設置し、警察署の再編整備をはじめ、運転免許更新センターの設置に向けた検討や交番・駐在所の在り方の見直しなど、「警察署再編整備等総合計画」の具現化に向けた取組を推進した。

また、業務の合理化・効率化に努めたほか、時差出勤、勤務地居住の原則緩和やワークライフバランスの実現、その他、女性警察官の採用・登用拡大など、時代の要請に応える警察組織の運営に取り組んでいる。

## II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 事業名                  | 事業内容及び成果  |
|----------------------|---|
| 新防災センター（徳島東署）施設整備等事業 | 大規模災害発生時、「防災センター」の機能を有する徳島東警察署新庁舎を整備するため、民間資金・活力を導入して事業を進めた。<br>(16, 556)   |
| 徳島ドライビングリゾート事業       | 運転免許を取得しようとする外国人（中国人等）に対して、「免許を取るなら徳島」を浸透させ、官民が連携しインバウンドを推進するため、免許取得環境の整備を行った。<br>(157)   |
| 警察施設長寿命化推進事業         | 「徳島県公共施設等総合管理計画」を推進するため、警察施設の長寿命化に向けた詳細な現況調査や保全台帳の整備を進め、個別施設計画の早期策定を図った。<br>(7, 668)  |
| 警察施設防災機能強化事業         | 南海トラフ巨大地震等に備えるため、防災拠点となる警察施設の防災機能を強化した。<br>(63, 375)  |
| 交番・駐在所等整備事業          | 地域防犯力の向上と活動拠点の強化のため、老朽化の著しい交番の建替えや商業ビルへのテナント化、老朽化した駐在所のリフォームを実施するとともに、老朽化駐在所の増加防止や財政負担の軽減等に向けて、民間資金・活力の導入を着実に進めた。<br>(112, 492) |
| 緊急配備支援システム再構築事業      | 重要事件発生時に実施する緊急配備を支援し、犯人の早期検挙や円滑な交通流を確保するため、緊急配備支援システムを再構築した。<br>(7, 328)  |
| 特殊詐欺対策事業             | 特殊詐欺の被害を防止するため、高齢者世帯等への個別架電による注意喚起等を行うとともに、試験的に不審電話撃退装置を設置することで、特殊詐欺撲滅に向けた取組みを加速した。<br>(6, 174)                                 |
| 交通安全施設整備事業           | 安全で快適な交通環境を確保するため、交通安全施設の計画的な更新と、道路の新設・改良に伴う交通信号機、道路標識等の整備を行った。<br>(587, 369)   |

### Ⅲ 歳入歳出決算額

#### 1 一般会計決算額

##### (1) 歳入決算額

(単位：円)

| 区 分     | 予 算 現 額       | 調 定 額         | 収 入 済 額       | 不納欠損額   | 収入未済額   | 予 算 現 額 と<br>収 入 済 額<br>と の 比 較 |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------|---------|---------------------------------|
| 警 察 本 部 | 2,250,460,000 | 2,080,246,212 | 2,079,598,212 | 153,000 | 495,000 | △170,861,788                    |

##### (2) 歳出決算額

(単位：円)

| 区 分     | 予 算 現 額        | 支 出 済 額        | 翌年度繰越額 | 不 用 額       | 予 算 現 額 と<br>支 出 済 額<br>と の 比 較 |
|---------|----------------|----------------|--------|-------------|---------------------------------|
| 警 察 本 部 | 21,688,281,000 | 21,369,806,732 | 0      | 318,474,268 | 318,474,268                     |